

## みんな一緒に体制整備

担当だけでなく、たくさんの人に助けてもらい体制整備に取り組んでいます。



四万十町（高知県）  
面積642.28km<sup>2</sup>高知県第1位  
全国でも38位の広い町です  
人口は17,040人  
高齢化率は43.5%  
(H31.3.31現在)

## 四万十町は、みんなと一緒に体制整備をしゅがやき！

### Pick up 生活支援体制整備 行政勉強会（H29.7）

住民から第2層協議体メンバーを募る前に、行政が知らないでは話にならない!!と行政勉強会を実施。町長の呼びかけで各課の課長級に参加を求め、一般職を含め79名で生活支援体制整備を学びました。副町長曰く「行政勉強会で最高の参加人数だった。それだけ関心が強い」とのこと。



### 【第2層協議体】

第1層協議体はH28年6月に設置。第2層協議体設置に向けてさわやか福祉財団の長瀬氏に協力していただき、

3回の大づかみ勉強会を開催（H29.9～H29.10）

第1回目の勉強会は2圏域で開催。第1層メンバーの口コミ宣伝効果もあり参加者135人と、会場が満杯でした。

第2回、第3回の勉強会を経て2圏域でメンバーが決定。

H29年11月より月1回協議体会議を開催。年に数回2圏域の

協議体が情報共有し、より良くするために意見交換をしています。



行政、包括支援センター（以下包括）、社協、福祉事業所、老人クラブ、ボランティア団体等で構成されていた第1層協議体も第2層協議体の安定と共に見直し、福祉事業所、老人クラブ、ボランティア団体等は第2層へ。行政・包括・社協が第1層として第2層をバックアップをする形に変更しました。

第2層協議体は一年半活動していく中で出たアイデアを単発ながら形に出来ていて、助け合いベンチ作り、移動販売の拡大、食べきれない農作物の無料配布など小さな実績を重ねています。

更に**住民目線の情報を聞きに町長、副町長等が参加**する時もあります。



生活支援コーディネーター（以下SC）は2圏域で一人ずつ配置し、住民が欲しい情報を提供し、住民の声を行政に伝え、住民同士も繋げていくよう頑張っています。なお、SCの2名は包括に所属しており、SC同士の情報共有や行政への報告、相談等細目に行えているため、協議体は2圏域に分かれています。町全体で生活支援体制整備を進めています。

### Pick up 移動サービス勉強会（H30.6）

協議体の困りごと話で毎回出てきていた移動問題。悩み事ピラミッドの一番上（行政対応）の問題でしたが、「自分たちで何か出来ないか?」「住民主体で小さな移動サービスが出来ないか?」

「やっている所に話を聞きたい!!」という意見から移動サービス勉強会が実現。

その結果、公共交通改善等を担当課だけでなく、他課や地域住民が協力し、バス停まで来れない方のサポートなども話し合い、住みよい町づくりに取り組んでいます。

### これから目指すもの

行政の集落担当職員制度を活用し、集落と行政の結びつきと住民活動のバックアップ。

集落単位で座談会を開き、より細かい地域情報の吸い上げと、他集落の活動情報の提供等。

集落単位で助け合い活動が出来るよう、手助けが出来たらと考えています。